

～「あたりまえをたやさないまち」池田町～

人間国宝による能と狂言、輪島の御陣乗太鼓など多彩な伝統芸能を堪能！

さつきたきぎのう

今年は 5 月 23 日開催 「能楽の郷 池田 露月薪能」



鎌倉時代から約 800 年続く「水海（みずうみ）の田楽・能舞」をはじめ、貴重な伝統文化を今に受け継ぐ福井県池田町。町内の各神社には歴史ある能面や衣装が大切に保管されており、また常時 100 面以上の能面を展示する「能面美術館」を有するなど、「能楽の郷」として知られています。

池田町では 2022 年に四半世紀ぶりに「薪能」を復活し、毎年 8 月に開催してきましたが（2025 年は荒天により中止）、今年は猛暑のリスクを避けるため、開催時期を見直し、5 月 23 日（土）に「須波阿湊疑（すわあづき）神社」の境内にて開催することとなりました。5 月下旬は田んぼに水が張られ、植えたばかりの小さな苗が風にそよぎ、山は新緑に彩られます。青葉の風薫る爽やかな季節、池田町で日本の原風景と伝統芸能に触れる 1 日をお楽しみください。

第一部の「民俗芸能交流会」では、池田町が誇る「水海の田楽・能舞」（国指定重要無形民俗文化財）の演目と、石川県輪島市名舟町に伝わる郷土芸能「御陣乗太鼓（ごじんじょだいこ）」をご覧いただきます。

第二部の「露月薪能」では、京都から「シテ方 金剛流 二十六世宗家 金剛永謹（こんごうひさのり）師」と「狂言方 大蔵流 茂山七五三（しげやましめ）師」をお招きします。金剛永謹師と茂山七五三師は共に人間国宝に認定されており、当イベントは一流の能楽師の能と狂言を一度に堪能できる貴重な機会となっております。

金剛流能の舞台では、池田町が毎年主催している「全国能面公募展」の優秀作品の面が使用されます。現代の面打ち師にとって自分の制作した能面が舞台で使用されるのは大変貴重で名誉なことで、能面作家にとっても晴れの舞台となります。

当日は、能面・装束を着装する「変身・能役者体験」や「全国能面公募展作品展」なども開催します。また、食と物産でも「能楽の郷 池田」を感じていただける内容となっております。

武生駅・越前たけふ駅・福井駅よりシャトルバスも運行予定です。5 月 23 日はぜひ、池田町に足をお運びください。

<露月薪能・チケット販売・関連イベントについての詳細は次頁以降を参照ください>



■皐月薪能　主催：福井県池田町／池田町教育委員会

【日時】令和8年5月23日（土）16:00開場（17:00開演、20:20頃終演予定）

【場所】須波阿湧窟（すわあづき）神社境内（福井県今立郡池田町稻荷13-1）

※小雨決行・荒天中止。

荒天中止の場合は5月21日（木）正午までに <https://www.e-ikeda.jp/event/p004641.html> にて発表。

- 【演目】
・福井県池田町「水海の田楽・能舞」（一部公演）
・石川県輪島市「御陣乗太鼓（ごじんじょだいこ）」
・大蔵流狂言「寝音曲（ねおんぎょく）」出演 茂山七五三（人間国宝） 茂山宗彦 ほか
・金剛流能「車僧（くるまぞう）」出演 金剛永謹（人間国宝） 金剛龍謹 ほか

【料金】S席：前売5,000円 A席：前売3,000円（当日3,500円）

※全席自由席です。（S席エリア・A席エリアに分かれています）

【前売券販売所】

■チケットぴあWEB【Pコード：540-380】※2/14（土）10:00～販売開始

■福井県内プレイガイド ※2/16（月）～発売開始

- ・池田町（ツドエル、こってコテいけだ）・福井市（ショッピングシティベル）・鯖江市（アル・プラザ鯖江）
- ・越前市（武生楽市、いまだて芸術館）・大野市（ヴィオ）・坂井市（アル・プラザアミ、ハートピア春江）

【公共交通機関でのアクセス】

■大阪・名古屋方面から／

(1) JR特急列車で敦賀駅へ、ハピラインふくいに乗り換えて武生駅へ、武生駅より車で約35分

(2) JR特急列車で敦賀駅へ、北陸新幹線に乗り換えて越前たけふ駅へ、越前たけふ駅より車で約30分

■東京・金沢方面から／北陸新幹線で福井駅へ、福井駅より車で約45分

※池田中学校（福井県今立郡池田町稻荷20-14）に無料駐車場あり

最寄駅からシャトルバスが運行します！※要予約（池田町教育委員会事務局 TEL：0778-44-8006）
*武生駅・越前たけふ駅 ⇄ 池田町（片道1,000円） *福井駅 ⇄ 池田町（片道1,000円）

<皐月薪能の注目ポイント>

★地域の民俗芸能と人間国宝が舞う能・狂言が共演！

延命息災や五穀豊穣への祈願や感謝を示す民俗芸能と、日本の伝統芸能の代表である能・狂言を共演することで、互いの芸能の特徴を比較することができる番組構成となっています。

能・狂言には、かつての越前の猿楽ともゆかりのある地、京都より、共に人間国宝である「狂言方 大蔵流 茂山七五三師」と「シテ方 金剛流 二十六世宗家 金剛永謹師」をお招きして舞を披露いただきます。



茂山七五三

金剛永謹

★金剛流能の舞台で「全国能面公募展」受賞作の面を使用！

池田町では平成9年度から「全国能面公募展」を定期的に開催しており、優秀作品は主要流派の舞台で使用されてきました。今回も過去の優秀作品の中から2面が選ばれ、5月23日に晴れの舞台を迎えます。

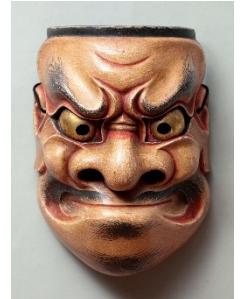
【使用面】

・第22回全国能面公募展・写し面の部／審査員特別賞

「空吹（うそぶき）」清水充子さん（京都府）作

・第22回全国能面公募展・写し面の部／最優秀賞

「大癪見（おおべしみ）」田中徳平さん（福岡県）作



空吹（うそぶき） 大癪見（おおべしみ）

<参考資料>令和8年5月23日（土）皐月薪能 演目解説

【第1部】民俗芸能交流会 17：00～18：00

福井県池田町 「水海の田楽・能舞」

池田町に約800年受け継がれる「水海の田楽・能舞」は、鎌倉幕府第5代執權・北条時頼が雪で立ち往生した時、村人たちが「田楽」を舞い、お礼に時頼が「能舞」を教えたのが始まりとされています。毎年2月15日、古式に従って田楽四番と能舞五番を奉納しており、1つの祭礼において田楽と能舞の両方を奉納するこの神事は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。今回の舞台ではその中から、田楽と能舞を一番ずつご覧いただきます。



石川県輪島市 「御陣乗太鼓(ごじんじょだいこ)」

輪島市名舟町に伝わる郷土芸能で、県指定無形民俗文化財。1577（天正5）年、上杉謙信の軍勢に攻め込まれた時に、鬼や亡靈の面をつけ、海藻の髪を振り乱しながら太鼓を打ち鳴らす奇襲を仕掛け、上杉軍を追い払ったのが始まりといわれています。毎年7月31日と8月1日に行われている「名舟大祭」で奉納打ちが披露されており、2024年に能登半島地震で甚大な被害を受けた後も、復興への願いを込めて力強い太鼓の音色を響かせています。



* 第1部終了後、約30分の休憩があります

【第2部】皐月薪能 18：30～20：20

火入れ式

国の重要文化財に指定されている須波阿須疑神社本殿から種火を受け取り、舞台のかがり火に灯りをともします。



* 火入れ式の後、能楽師より解説がります

大蔵流狂言「寝音曲（ねおんぎょく）」

出演 茂山七五三（しげやましま） 茂山宗彦（しげやまもとひこ）ほか
召使い（太郎冠者）が酔い紛れに唄っていた唄を偶然聞きつけた主人は、自分の前で唄ってみよと命じます。太郎冠者は今後も度々唄わされては迷惑と考え、「酒を呑まねば唄えない」「妻の膝枕でないと唄えない」などと次々に条件を付けますが、そのうち酒に酔ってしまい…。
唄わせたい主人と唄わずにやり過ごしたい太郎冠者、茂山七五三・茂山宗彦の名コンビによる滑稽なやりとりをお楽しみください。



金剛流能「車僧（くるまぞう）」

出演 金剛永謹（こんごうひさのり） 金剛龍謹（こんごうたつのり）ほか
牛の引かない車を法力によって自在に乗りこなす「車僧」（ワキ）と言われる禪僧がいました。ある雪の日、車僧が嵯峨野で雪景色を眺めていると、一人の山伏が現れます。実はこの山伏は愛宕山の天狗が変装した者で、車僧を魔道に誘い込むため、禪問答をしかけてきました。
物語の後半、山伏は本来の「大天狗」（シテ）の姿となり、車僧に行比べを挑んできます。平然と落ち着いた車僧と自在に動き回る大天狗の対比が面白い演目です。
「大天狗」の面には、第22回全国能面公募展・写し面の部で最優秀賞に選ばれた能面「大癪見（おおべしみ）」（田中徳平さん作）が使用されます。
また、前半と後半の間をつなぐ「間狂言（あいきょうげん）」には、第22回全国能面公募展・写し面の部で審査員特別賞に選ばれた狂言面「空吹（うそぶき）」（清水充子さん作）が使用されます。



■関連催事・他

【変身・能役者体験】 場所：能面美術館

池田町の「水海の田楽・能舞」で実際に使われていた能装束と能面を着装、能面美術館内の舞台に立ち、地元保存会の方々の指導を仰ぎながら、所作体験と記念撮影ができます。能面を着けたときの視野の狭さや衣装の重さなどを体験することが出来る貴重な機会です。

- ・令和8年5月23日（土）10：00～15：00
- ・定員10名、1人5,000円（約40分）
- ・事前予約優先 〈（一財）いけだ農村観光公社 TEL：0778-44-8060〉



【全国能面公募展作品展】 場所：能面美術館

23回目を迎えた「全国能面公募展」から、入選以上の作品を展示します。

- ・令和8年3月28日（土）～5月31日（日）※火曜定休
10：00～16：00（土日祝は10：00～17：00）
- ・入場料1人300円、薪能入場券提示で入場無料。



【飲食・物品販売】 場所：須波阿湧凝神社

会場内には池田町の特産品を使ったおやつや軽食を販売するテントやキッチンカーが出店します。また、Tシャツや風呂敷、キーホルダーなど、薪能を記念したお土産品も販売します。

- ・令和8年5月23日（土）16：00～20：30
※店舗により16:00～18:30の営業の場合あり



【お茶席】 場所：須波阿湧凝神社

地元サークル「池田抹茶教室」のメンバーが境内でお抹茶を振る舞います。神社という神聖な場所で、自然を愛でながら一服してください。

- ・令和8年5月23日（土）15：00～17：00
・1杯500円（お茶菓子付き）



【エコキャンドル】 場所：須波阿湧凝神社

薪能からの帰り道、回収した廃油で作られたろうそく（エコキャンドル）が神社参道を照らします。池田町青年団を中心に、町民みんなで協力して作ったエコキャンドルの優しい光をお楽しみください。

- ・令和8年5月23日（土）18：10～20：30

<薪能についての最新情報は <https://www.e-ikeda.jp/event/p004641.html> にて発表いたします>

■ 「あたりまえをたやさないまち」池田町

福井県池田町は人口約2,100人、森に囲まれた小さな町です。
心をいやす日本の原風景、作物をいつくしむ感謝の気持ち、人と人が思いやり、支えあって暮らす
「あたりまえをたやさないまち」を目指しています。

池田町町長・杉本博文

「人々が共同して暮らす小さな社会だからこそ、人々が関わりあえる、
相互扶助が生きるまちでありたいと願っています」

